

6日目 7月18日

会 場: 県立浜山球場

第1試合	～3回戦～ (7回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
矢 上	0	0	0	0	0	0	0									0	4	0		
益田東	0	1	4	0	1	1	X									7	12	1		
(投手-捕手)																				
・ (矢)	後藤 - 元川																			
・ (益)	中村→隅田→柘植 - 福田																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (矢)	中西2																			
・ (益)							元川						藤原							
(審判) [球審] 上手	[一塁] 城市						[二塁] 大谷						[三塁] 日野岡							
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(矢)	25	4	0	2	0	0	7	0	0	0	4	1			0	0	0	0		0
(益)	32	12	7	0	1	1	6	2	3	3	7	0			1	0	0	0		0

「益田東、石見地区の強豪対決制す！」

大会6日目浜山会場の第1試合からは3回戦に突入し、第2シードの益田東と石見地区大会優勝の矢上と実力校どうしの対戦となった。益田東はエース後藤が今大会初登板、矢上は2回戦に引き続き2年生右腕の中村が先発した。

試合は益田東の一方的な展開となった。2回裏、四球と盗塁などで1死3塁とし、8番佐野のセンターへの犠飛で益田東が先制点を挙げる。3回裏、安打と犠打で1死2塁とし、3番元川がライトへの適時打を放つと、安打で1死1・2塁と好機を広げ、5番藤原が矢上2番手隅田の継投直後の2球目を捉えライトスタンドへの本塁打を放ち、リードを5点に広げた。益田東は、攻撃の手を緩めず4回から継投した矢上エースの柘植から、5回裏に7番三谷の適時打、6回裏に3番元川の適時3塁打で1点ずつを追加し7点差をつけた。

対する矢上は、益田東の後藤の低めを突く丁寧な投球を前に、5番中西が2本の長打を放ち1人気を吐くが、散発4安打に抑え込まれ得点を奪うことは出来なかった。

